

● 2月16日電話通信サービスのユニバーサル化を考える大学習会

決意表明

電話は使えないものだった
聞こえない人にはわからないものだった
聞こえる人が使うものだった

1876年、グラハム・ベルが発明した電話は
またたく間に世界中に広がった
音声通信で、人と人の距離を近づけた
人に時間と効率を与えてくれた
だが聞こえない人は
ネットワークから遠ざけてしまった

今や時代は変わった
技術やICTが大きく伸展した
聞こえにくい我々も
これまでできなかったことが、できるようになった
FAXが使えるようになった
メールができるようになった
テレビ電話で手話ができるようになった
聞こえる人と同じように
距離を超えてつながれるようになった
聞こえる人と同じ時間が流れはじめた

でも私たちはなかなか変わらない
なぜだろう

電話は聞こえない人を
聞こえる人から切り離して
聞こえない世界に押し込めたのかもしれない

聞こえないことは苦しかった
つながれないことはつらかった
一生このままかもしれないと

思ったこともあった
でもあきらめない人たちがいた
協力してくれる方もたくさんいた
皆さんのおかげで
聞こえなくても電話ネットワークにつながれるように
社会が変わってきた

環境は整ってきたが
まだ充分ではない
社会が変わってきたが
それだけでは充分ではない

次は自分だ
自分が変わらなければ、電話ネットワークは変わらない

自分に言い聞かせたい
いま、自分が変わろう
皆さんにお願いしたい
いま、世界を変えよう
我々に続く、聞こえない子どもたちが
世界とつながって行けるようにしていこう！